

記者発表(発表(配布))				
発表日	担当課	TEL	発表者名	その他配布先
7/20 (火) 10:00	(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター 学術交流部 交流推進課 (淡路会議事務局)	078-262-5713	研究戦略センター 副センター長兼学術交 流部長 松原浩二 (次長兼交流推進課長 大西敏文)	淡路県民局

## 第20回「アジア太平洋研究賞(井植記念賞)」受賞者の決定について

「アジア太平洋フォーラム・淡路会議(代表理事 井植敏)」は、アジア太平洋地域の多文化共生のビジョンを明らかにするとともに、その実現に向けて広く社会に提言を行うことを目的に、毎年夏に淡路の地で国際シンポジウムを開催するとともに、アジア太平洋地域に関する日本人や留学生の優れた博士論文を表彰する「アジア太平洋研究賞(井植記念賞)」顕彰事業を実施しています。

このたび、応募のあった23件の論文について選考を行った結果、第20回「アジア太平洋研究賞(井植記念賞)」受賞者(本賞1名、佳作3名)を次のとおり決定しました。

### 1 第20回アジア太平洋研究賞(井植記念賞) 受賞者(論文の概要及び選考理由は別紙のとおり)

#### 【本賞】(1名)

岡田 美保(オカダ ミホ) 現・防衛大学校 グローバルセキュリティセンター 共同研究員(48歳)

経歴：令和3年3月 防衛大学校総合安全保障研究科博士後期課程修了

令和3年3月 博士(安全保障学)・独立行政法人大学改革支援・学位授与機構

受賞論文：「日ソ国交回復交渉の再検討ーヤルタ合意と二つの対日交渉方針ー」

#### 【佳作】(3名)

于 海春(ウ カイシュン) 現・早稲田大学現代政治経済研究所 特別研究所員(～7/31) / 次席研究員(8/1～) (36歳)

経歴：令和元年9月 早稲田大学大学院政治学研究科ジャーナリズムコース博士後期課程研究指導終了による退学

令和3年2月 博士(ジャーナリズム)・早稲田大学

受賞論文：「中国の権威主義体制下におけるメディア統制の重層性

ー現代中国におけるローカルメディアとメディアシステムの比較分析を通じてー」

長岡 慶(ナガオカ ケイ) 現・関西大学 日本学術振興会 特別研究員(CPD) (34歳)

経歴：平成31年3月 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程修了

平成31年3月 博士(地域研究)・京都大学

受賞論文：「現代ヒマラヤ世界におけるチベット医学の制度化と病気治療

ーインド北東部タワンの暮らしと病いの民族誌ー」

南波 聖太郎(ナンバ セイタロウ) 現・ジェトロ・アジア経済研究所 研究員(35歳)

経歴：平成30年3月 東京外国語大学大学院総合国際学研究所博士後期課程単位取得満期退学

令和2年10月 博士(学術)・東京外国語大学

受賞論文：「ラオスにおける社会主義と中立主義の相克：デタント期社会主義陣営の最辺境における解放区の多元的展開(1945-1975)」

## 2 授賞式

令和3年8月6日に開催を予定していた淡路会議国際シンポジウムと併せて実施する予定でしたが、同シンポジウムの開催中止に伴い授賞式は行わず、個別に賞状および副賞を伝達します。

### 【お問い合わせ】 アジア太平洋フォーラム・淡路会議事務局

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター内

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター 東館6F

TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122 Eメール gaku-jutsu@dri.ne.jp

### 〈参考〉第20回「アジア太平洋研究賞（井植記念賞）」の概要

#### □対 象

日本の大学院で学んだ日本人および留学生等で、平成28年3月以降に当該大学院博士課程を修了し(平成28年3月以降に単位取得退学し、その後博士の学位を取得している場合も可)、かつ大学院の指導教員から推薦を受けた者。

#### □論文のテーマ

アジア太平洋地域における「多文化共生社会」の実現に資する人文・社会科学領域の研究をテーマとする論文であること。

当賞に初めて応募する論文であること。

#### □論文の選考

研究賞選考委員会(委員長:片山裕 神戸大学名誉教授ほか10名)において審査・選考

#### □賞の内容

本賞:賞状および副賞(100万円)

佳作:賞状および副賞(20万円)

#### □後援

朝日新聞社